

— 科学教育の未来を拓く SSTA —

2019
6/19

7号

SSTA事務局瓦版

本部役員、支部長、事務局長、研修担当者、企画研修委員 様

科学教育若手教員研修会 開催

1

2枚中

◆東北ブロック 宮城大会

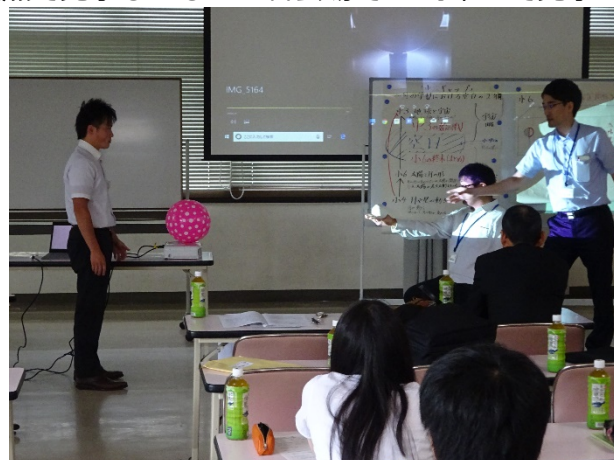
開催日：6月15日(土)-16日(日)

会場：東京エレクトロンホール宮城、スリーエム仙台市科学館、仙台市天文台

1日目は、研修員自らが選んだ施設が集合場所となり、地域の施設の見学からスタートしました。科学館には2グループ9名の研修員が集まり、学年や単元によってどの展示物が教材として使えるか、意見を出し合い様々な視点で見学しました。天文台には、1グループ3名の研修員が集まり、学年を超え小中の垣根を超え、天文単元をどう展開するかという視点で見学しました。各会場で15時半まで見学した後、研修会場である県民会館に移動しました。

8支部12名の研修員がここで一同に集まり、開会行事が16時50分から始まりました。夕食後、県民会館内の別の小部屋にグループごとに移動し、活発に意見交換しながら単元構成を練りました。

2日目は、グループごとに1時間リハーサルをやった後、発表となりました。プロジェクターを使ってモデル実験の説明をしたり、模擬授業で自分たちの考えを訴えたりと、各グループとも工夫を凝らし、分かりやすい発表を考えていました。そして、どのグループにも質問や意見が出て、お互いの考えを深めていました。最後に企画研修委員の原田先生が全体講評し、各グループの研修をまとめました。



◆中日本ブロック 愛知大会

開催日：6月15日(土)-16日(日)

会場：愛知県青年の家

愛知、岐阜、長野、新潟、石川から15名の研修員が集まり、部会ごとに1時間分の指導案を作成しました。

1日目は、開会式の後、小3から中学の5つの部会に分かれ、各部会に2名の愛知支部の中堅教員がサポートで入り、あらかじめ指定されている本時にあたる授業を深く考察・検討していきました。全体研修では、蒲郡市生命の海科学館の方を招き、「ねずみ短檠（たんけい）」と「偏光万華鏡」の2つのワークショップを行いました。研修員は、集中しながらも原理を考えながら、ワークショップを楽しみました。

2日目は、教材開発と発表準備が行われ、10:00から各グループの発表が行われました。模擬授業の演技が実にリアリティのある発表や、研修員全員を児童に見立てた発表、先生の発言はあらかじめPCに録音し、発表者全員が児童になり、児童の変容を表現した発表などもあり、各グループ共に個性的な工夫がなされていました。この2日間は、若手の先生方にとって、とても有意義な研修会になったものと思います。



本部役員、支部長、事務局長、研修担当者、企画研修委員 様

科学教育若手教員研修会 開催

2
2枚中

◆九州ブロック 福岡南大会

開催日：6月15日(土)-16日(日)

会場：休暇村 志賀島

8支部からの15名の研修員が集い、近くの自然環境を実体験し、グループごとに教材化を進めました。1日目は、研修内容の講義のあと、すぐ近くの海岸の潮だまりで生きものを調べました。マリンワールドの学芸員の岩田さんに観察の仕方の説明を受け、グループごとに見つけていきました。アメフラシやウミウシ、ハゼの仲間の魚、ヤドカリなど様々なものの採集に目を輝かせて取り組みました。次に、鳥グループと植物グループに分かれて活動を行いました。鳥グループでは、海の中道海浜公園で公園内や野鳥の観察池で鳥を調べました。双眼鏡の使い方を説明してもらい、上手に観察するコツも学びました。途中の海辺の岩礁では、海の鷺ともいわれるミサゴの巣で、親鳥ひなの様子も観察できました。植物グループは、宿舎の周辺の野草を観察し、様々な植物の種子の特徴を調べることができました。それぞれ宿舎に戻り、自分たちが調べた自然をどのように学習活動に生かしていくのかをまとめていきました。

夕食後の20時過ぎにはホタル観察もできました。

2日目は、グループごとの発表でした。2つの鳥グループの発表の後、まず、お互いに質問し合いました。その後、全体からの質問・協議をし、研修員同士の意見交換を促しました。同様に、植物グループでも行いました。それぞれの発表は、模擬授業形式だったり、実験をして現象を見せたり、工夫されていました。オブザーバー参加の保育園・こども園の先生たちも研修内容を発表しました。普段できない自然観察、グループでの教材研究は、参加した研修員にとって貴重な体験となりました。



事務局より

2019年度支部助成金の振込に際し、下記書類の提出は必須となります。未提出の支部がありますのでご対応いただけますようお願いいたします。(未提出支部は以下の通りです)

◆支部助成金振込口座 (瓦版号外0517)

山形	福島	埼玉	東京	横浜	石川	福井	滋賀
和歌山	岡山	愛媛	福岡北	福岡南	熊本	沖縄	

◆2018年度決算書

北海道北	山形	埼玉	東京	横浜	山梨	新潟	富山	福井	三重	滋賀
兵庫	鳥取	島根	香川	愛媛	高知	福岡南	熊本	宮崎	沖縄	